

「美」「美意識」「エレガント英語」の関係性

1 「美」(beauty)の概念

「美」(beauty)とは、感覚(sense)、知覚(perception)、情感(feeling)を通して、自己の「内的快感」(internal pleasure)を介して生じる「人間の内における一連の相当経験」の“様”を指す概念である。

- ・ 内的快感(internal pleasure)

人間の中で生じる「快い感じ」

- ・ 快(pleasure)

具体的、または、抽象的活動における経験によって生じる”positive feeling”

<<快感の2種類>>

a subjective pleasure (主観的快感) = 「快」(個人的・限定的な「快」)

b objective pleasure (客観的快感) = 「美」(普遍的、社会的な「美」)

2 感覚(sense)、知覚(perception)、情感(feeling)について

(1) 感覚(sense)

心的現象、sensation, sense。

何らかの事物を感じる事。

(2) 知覚(perception)

感覚を経験する器官を介して、外界に存する事物の形・特質・独自性・関係性等を把握する“一連の相当経験”。

事物について分別する“一連の相当経験”。

<a> 外界の事物 → 外界の事物について知り覚える “一連の相当経験” → 「知覚」(perception)

 身体感覚(痛み、痒み) → 身体感覚について知り覚える “一連の相当経験” → 「知覚」(perception)

<c> perceptibility と imperceptibility の関係性

(3) 情感(feeling)

具体的、または、抽象的事物に感じて、何らかの「情」(feeling, sentiment, passion, etc.)が起こる “様”。

主観的な意識。主観的な心模様。

3 「美意識」(sense of beauty)の概念

(1) 「感性」(sensitivity)と「美意識」(sense of beauty)の関係性

(2) 「理性」(reason)と「美意識」(sense of beauty)の関係性

(3) 「美意識・美感」(sense of beauty)の “究極的境地” (the ultimate stage)についての考察

4 「美」「美意識」「エレガント英語」の関係性

(1) 「美」(beauty)としての「エレガント英語」(elegant English)

(2) 「美・“意識”」と「エレガント英語・“意識”」

(3) 「エレガント英語」具現に向けた『美意識』構築への道のり」

(4) 「究極的『美』」(the ultimate beauty)と「究極的なエレガント英語」(the ultimate elegant English)における相関関係

5 “tuning standard”と”elegance”の関係性

- (1) “tuning standard”の構築方法
- (2) 形而上学としての perfection と imperfection

Imperfection gradually organizes and refines a sense of beauty.

- (3) “the quintessence of elegance”

[補足]

この教材に関しては、事前の準備学習を行う必要はありません。この教材について講師の講義を希望する場合は、まずはじめにこの教材をプリントアウトし、その後、この教材について講義を受けたい旨を（事前に）講師に伝えてください。基本的に、講義は英語で行いますが、受講者の「美感」「基礎学力」「英語力」によってはこの限りではありません。

この教材の内容は、“極めてデリケートな内容”です。望ましい方法で受講するには、まず第一に、静寂の中で自分の心を落ち着かせ、「心の浄化」(spiritual purification)を図ることが必要不可欠です。心の浄化を図ることなしに「美」「美意識」についてしっかりと認識・理解・吸収することは不可能です。